

2DRを用いてLive2Dで作成した素材を動かし、 動画を作成するには

1. 目的

VTuberになるためにはどうしたら良いかを知りたかった。

2. 仮説

Live2Dと2DRとOBSで、できるのではないのか？

3. 説明

使用したソフトは順に、Photoshop・Live2D・GoogleDrive・2DR・OBS・YMM・恋声だ。



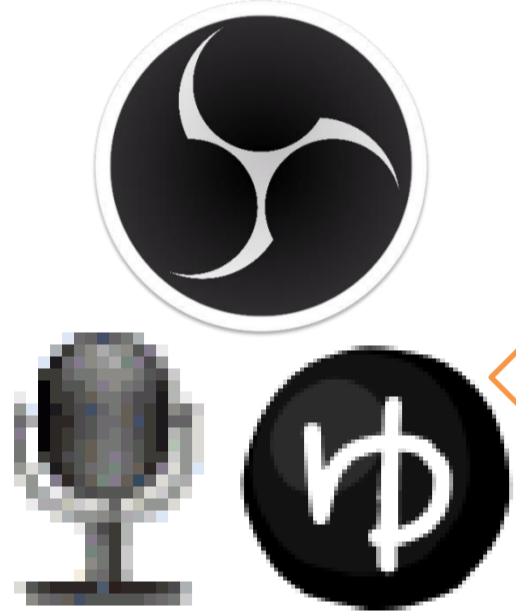
Photoshopで、pixelとsizeを合わせた絵を分割させて作成する。

- Live2Dを使用してモデルの編集範囲を詳細に設定する。
- デフォーマーと呼ばれる立体的な動きを付けるための編集をする。
- 各パーツの動きのMAX値とMIN値を調節して、思い通りの動きになるように、デフォーマーを動かしながら設定する。
- 設定した後にテキストチャートラス設定をしてから、モデルのファイル名に不具合が起きないように設定しながら出力する。



出力したファイルをzipに圧縮してGoogleDriveに保存してから、iPhoneにダウンロードする。

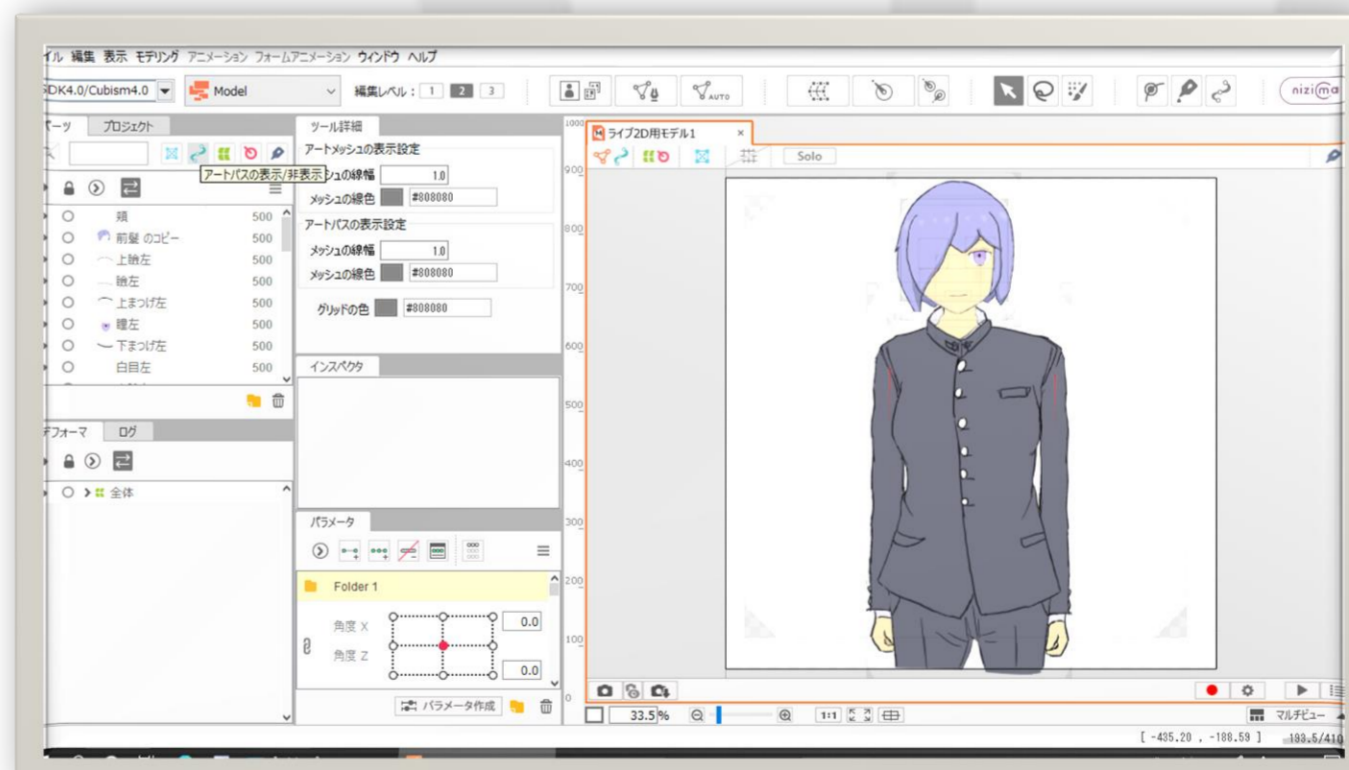
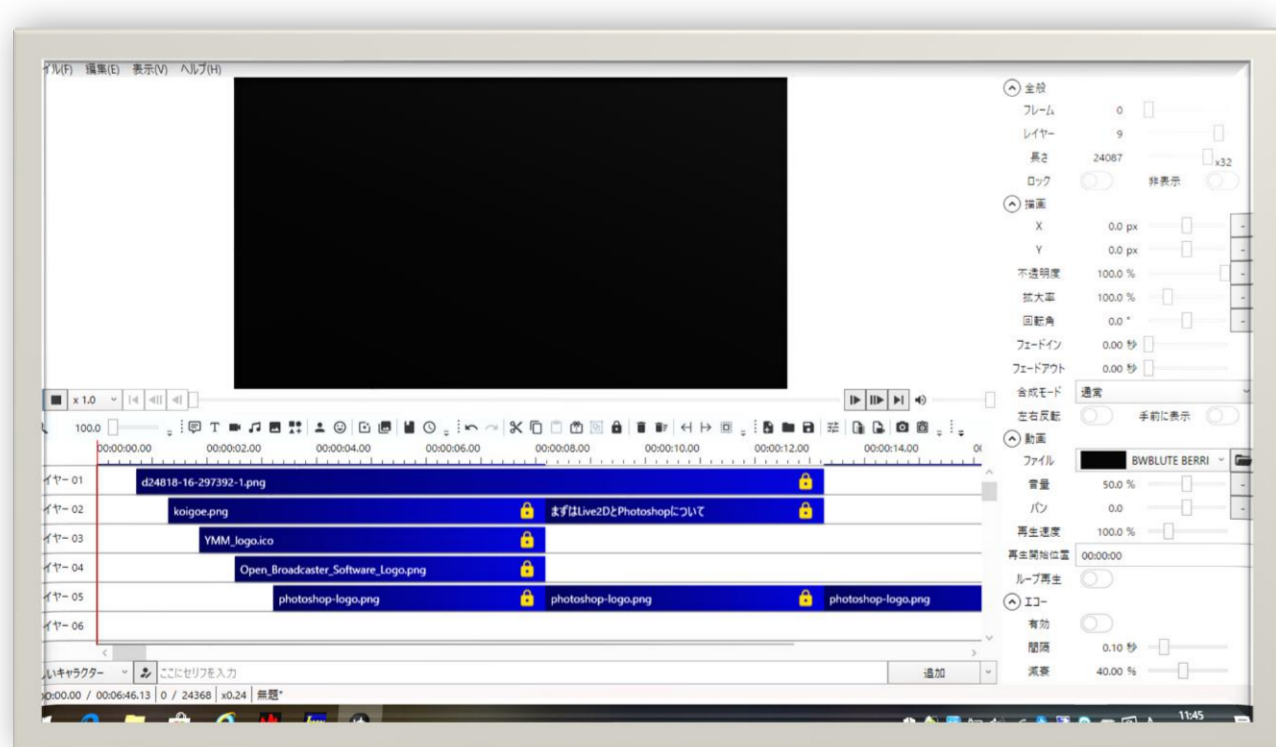
ダウンロードしたzipファイルを2DRのフォルダにコピーする。
ファイルを読み込ませることでフェイストラッキング機能を使って動かすことができる。



OBSを使って、動画と音声を録画して、YMMやAviUtlを使って編集する。
この時にお好みで恋声を振りかけるとより美味しく出来上がる。

4. 結果

結果をいうと上記の方法で作成、実行することはできた。
だが懸念点としてモデルが稚拙であることが挙げられた。
これは実際に自分たちの地力が求められる為、ソロであった私には厳しい選択であった。
なお知り合いに頼むと容易に20万と掛かったため断念、そしてそもそもの問題点として2DRのフェイストラッキング機能があまり良いとは言えなかったことが残念と言える。



5. 感想

昨今頑張っているVTuberさんたちに敬意を払いたいと思った。
絵から始めて凝ると数十万と飛び、機材をそろえるとさらにお金が飛んでいく界限ということもあり、私の技術ではそこまで補うこともできなかった。
今回こういった経験を糧にVTuberの世界に飛び込んでみるというのもまたありかと思った。
ハード系の課題の評価が高かったことが相まってこのような課題はちょっと1.2年生方には理解しづらいかなと感じた。もう少しわかりやすくしたかった。